Panasonic

300MHz帯PLLダイバシティ**ワイヤレス受信機**

取扱説明書　工事説明付き

品番　WX-R300

このたびは、ワイヤレス受信機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

上手に使って上手に節電

保証書別添付

1. 商品概要

本機は、300MHz帯ワイヤレスマイク（WX-1700、WX-1800等）と組み合わせて使用するワイヤレス受信機です。

- ・PLL方式の採用により、300MHz帯の周波数13波から希望の受信周波数を選択できます。
- ・ダイバシティ方式の採用により、α・βのアンテナによって電波の受信を確実にし、デットポイントを低減します。

2. 付属品をご確認ください

ACアダプター 1
ホイップアンテナ 2
チャンネル設定用小型ドライバー 1
大形単式プラグ 1
束線バンド 1
取扱説明書（本書） 1
保証書 1

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

■保証書（別添付）
必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのあと保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■修理を依頼されるとき
まず電源を切ってから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は
保証書の規定に従って、出張修理させていただきます。

●保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる商品については,ご希望により有料で修理させていただきます。
ただし、ワイヤレス受信機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後7年です。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	品番	WX-R300
販売店名	電話　（　　）　－		

パナソニック株式会社
システムソリューションズ社

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号
電話　フリーダイヤル　0120-878-410

A8QA5170DN
N0399-3108

3. 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。

⚠警告

■工事は販売店に依頼する

工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

●必ず販売店にご依頼ください。

■異物を入れない

禁止

水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

●ただちに電源を切り、販売店にご連絡ください。

■分解しない、改造しない

分解禁止

火災や感電の原因となります。

●修理や点検は販売店にご連絡ください。

■異常があるときは、すぐ使用をやめる

煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因となります。

●ただちに電源を切り、販売店にご連絡ください。

■電源コード・ACアダプターを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない）

禁止

傷んだまま使用すると感電・ショート・火災の原因となります。

●コードやACアダプターの修理は販売店にご相談ください。

■ACアダプターのほこり等は定期的にとる

ACアダプターにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因となります。

●ACアダプターを抜き、乾いた布でふいてください。

■ACアダプターは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

●傷んだACアダプター・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■ぬれた手でACアダプターの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因となります。

■コンセントや配線器具の定格を越える使いかたや、交流100V以外での使用はしない

禁止

たこ足配線等で、定格を越えると、発熱による火災の原因となります。

4. 取扱上のお願い

使用上のお願い

●周波数について

ワイヤレスマイクの周波数は、受信機（本機）の周波数と合わせてご使用ください。

●複数のワイヤレスマイクを使用するには

・同時に使用できるワイヤレスマイクは、同グループ内の4本までです。
・ワイヤレスマイクどうしは、50 cm以上離してご使用ください。
・ワイヤレスマイクと受信機（本機）の距離は、2 m以上離してご使用ください。

●お手入れは

電源を切り、乾いた布でふいてください。ほこりが取れにくいときは、薄めた台所用洗剤（中性）をやわらかい布にしみ込ませ、よくしぼり軽くふいてください。

ベンジン、シンナーなどを使用すると、変質したり塗料がはげることがありますので避けてください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

●長期間使用しないときは

節電のため本体の電源スイッチを切り、ACアダプターをコンセントから抜いてください。（本体の電源スイッチを切った状態でも1.4 Wの電力を消費しています。）

設置上のお願い

●設置場所は

直射日光の当たる所や温風吹き出し口近くは避けてください。また、湿気やほこり、振動の多い場所に設置すると故障の原因となることがあります。

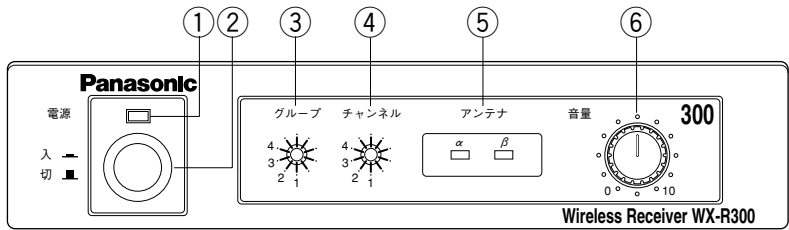
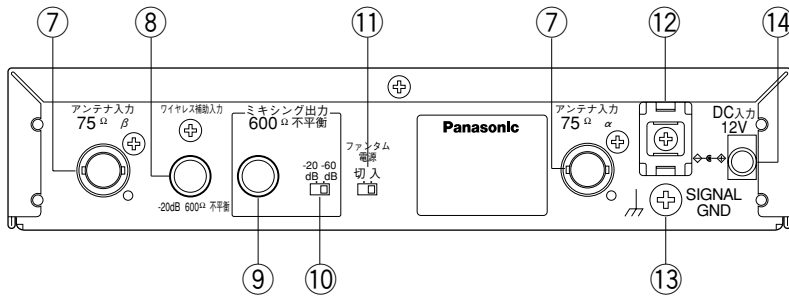
●アンテナは

確実に受信するために、アンテナはワイヤレスマイクから直視できる位置に設置してください。アンテナ付近に障害物があると、到達距離が短くなることがあります。

●近くの妨害電波について

同じ周波数の妨害電波、高周波を使う機器が近くにないことを確認してください。
やむをえず雑音源の近くで使用する場合は、ワイヤレスマイクと受信機（本機）の距離を短くしてご使用ください。（使用距離は、雑音源の大きさにより左右されます。）
また、テレビなどの送信アンテナ直下では、到達距離が短くなることがあります。

5. 各部の名前と働き

前面

後面

①**電源表示灯（緑）**
電源「入」のとき点灯します。

②**電源スイッチ［電源　入,切］**

③**グループ設定スイッチ［グループ］**
周波数のグループを設定します。

④**チャンネル設定スイッチ［チャンネル］**
周波数のチャンネルを設定します。

⑤**受信表示灯（緑）［アンテナ　α,β］**
電波を受信すると点灯します。

⑥**音量つまみ［音量］**
音量を調節します。

⑦**アンテナ入力［アンテナ入力 75Ω　α,β］**
アンテナ（付属品または別売品）を接続します。

⑧**補助入力ジャック**
［ワイヤレス補助入力　－20dB 600Ω 不平衡］
ワイヤレス受信機を増設するときに使用します。

⑨**ミキシング出力ジャック**
［ミキシング出力　600Ω 不平衡］
ワイヤレスマイクと補助入力の音声をミキシングして出力します。

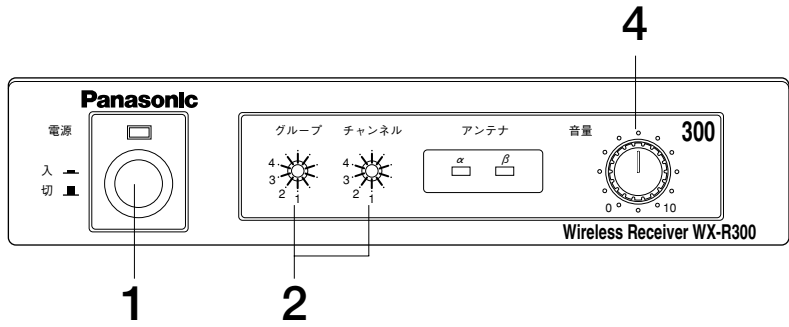
⑩**出力レベル切替スイッチ**
［－20dB/－60dB］
出力レベル（－20dBまたは－60dB）を切り替えます。

⑪**ファンタム電源スイッチ**
［ファンタム電源　入,切］

⑫**ケーブルクランプ**
束線バンドで接続したケーブル類を固定します。

⑬**アースねじ［SIGNAL GND］**

⑭**電源入力コネクタ［DC入力　12V］**
ACアダプターを接続します。

6. 操作のしかた

1　電源スイッチを「入」にします。
電源表示灯が点灯（緑）します。

2　グループ設定スイッチ、チャンネル設定スイッチをワイヤレスマイクと同じグループ、チャンネルに設定します。
設定には、付属のチャンネル設定用小型ドライバーを使用します。

3　ワイヤレスマイクの電源スイッチを「ON」にします。

4　音量つまみを回し、ワイヤレスマイクの音量を調節します。

メモ

・ワイヤレスマイクのグループ、チャンネル設定については、ワイヤレスマイクの取扱説明書をご覧ください。
・受信周波数表（下記参照）にないグループ、チャンネルに設定した場合は、受信表示灯α・βが同時に点滅し受信できません。

7. 仕様

●基本仕様

電源	DC12 V
消費電流	150 mA（WX-1430を2本接続時）
消費電力	AC100 V 3.8 W（ACアダプター使用時）（本体電源スイッチ切で1.4 W）
使用温度範囲	－10℃～＋50℃
寸法	210（幅）×44（高さ）×140（奥行き）mm
質量	約1.1 kg（ACアダプター、ホイップアンテナ含む）

●受信部

アンテナ入力	75 Ω　2系統1回路（BNCコネクタ） アンテナ用ファンタム電源出力　9 V　30 mA（最大） ON/OFF切替スイッチ付き、α・βにWX-1430を各1本接続可能
受信周波数	下記受信周波数表による
受信方式	スーパーヘテロダイン方式、スペースダイバシティ受信方式
受信感度	S/N : 30 dB以上（20 dB μV、2.25 kHz FMにて）
スケルチ感度	15 dB μV
トーンスケルチ	14.8 kHz（0.6 kHz FM）
S/N	50 dB以上（60 dB μV、2.25 kHz FMにて）
ひずみ率	3 %以下（60 dB μV、4.8 kHz FMにて）
周波数特性	100 Hz～7,000 Hz（50 μsエンファシス）
基準出力レベル	－20 dBV/－60 dBV　不平衡（切替スイッチ付き）
補助入力レベル	－20 dBV　不平衡
残留雑音	30 μV以下

●仕上げ

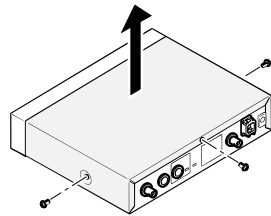
前面パネル	AVアイボリー色ABS樹脂（マンセル7.9Y6.8/0.8近似色）
カバー	AVアイボリー色塗装鋼板（マンセル7.9Y6.8/0.8近似色）

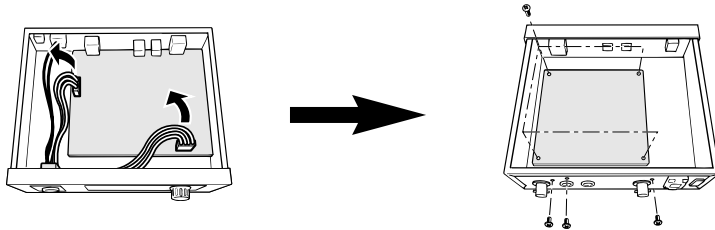
●受信周波数表

周波数（MHz）	グループ（下2桁目）・チャンネル番号（下1桁目）			
	グループ1	グループ2	グループ3	グループ4
322.025			C31	
322.050	C11			
322.075		C21		
322.100	C12			
322.125		C22		
322.150			C32	
322.250	C13			
322.275		C23		
322.300				C41
322.325			C33	
322.350	C14			
322.375		C24		
322.400			C34	

8. 入力および出力回路を平衡形にする場合

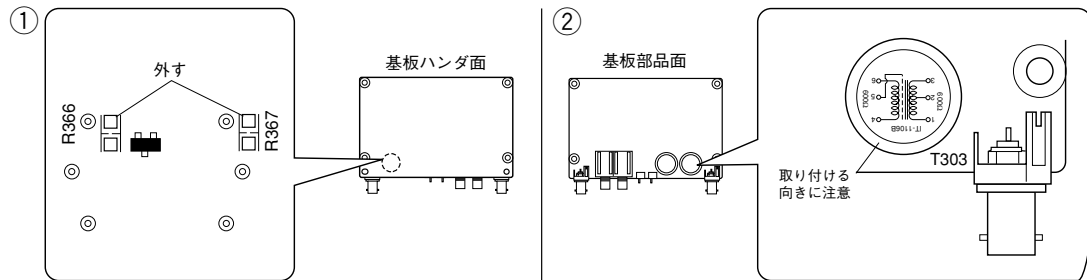
オーディオ入力（出力）ケーブルを長く延ばした場合や、本機をラックへ取り付けた場合などは、ノイズが混入することがあります。
本機の入力（出力）を平衡形にして、平衡タイプのケーブルを使用することで、ノイズを低減させることができます。手順は以下のとおりです。

1 カバー取付ねじ（3本）を外し、カバーを外します。

2 内部配線のコネクタ（2ヶ所）を外します。

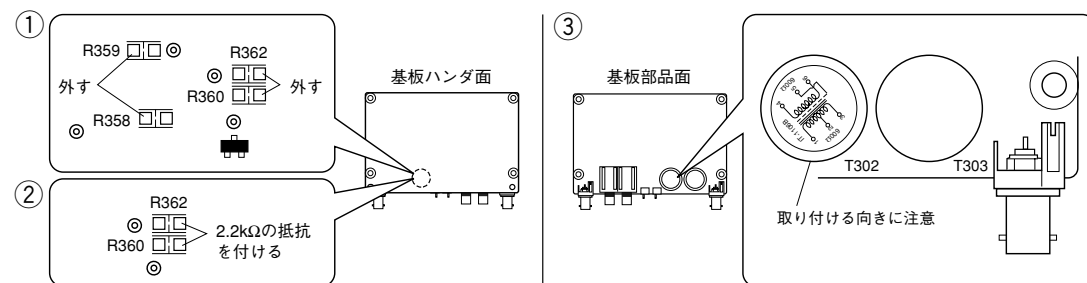
次に、後面パネルのねじ（3本）と基板取付ねじ（4本）を外し、プリント基板を取り出します。

3 以下の作業を行い、入力および出力回路を平衡形にします。

●ワイヤレス補助入力を平衡形にする場合

オーディオトランス（YWIT1106B）※を1個用意してください。

①ジャンパー抵抗（R366 、R367）を外します。
②オーディオトランスをT303へ取り付けます。

●ミキシング出力を平衡形にする場合

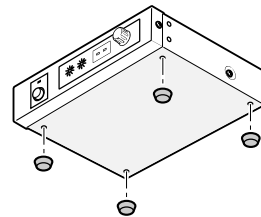
オーディオトランス（YWIT1106B）※を1個、2.2 kΩの抵抗（ERJ6GEYJ222）※を2本用意してください。

①ジャンパー抵抗（R358、R359、R362）および抵抗（R360）を外します。
②抵抗（2.2 kΩ）をR360、R362へ取り付けます。
③オーディオトランスをT302へ取り付けます。

4 手順1〜3を逆の手順で行い、元の状態に組み立てます。ケーブルは、平衡タイプのケーブルをご使用ください。

※オーディオトランスおよび抵抗は、補修部品扱いです。

9. ラックへの取り付けかた

ラックマウント金具　WQ-LMK44/1-W（別売品）を使用すると、EIAラックに取り付けて使用できます。
また、ラックマウント金具　WQ-LMK44/2-W（別売品）を使用すると、EIAラック 1Uサイズに2台まで並べて取り付けることができます。

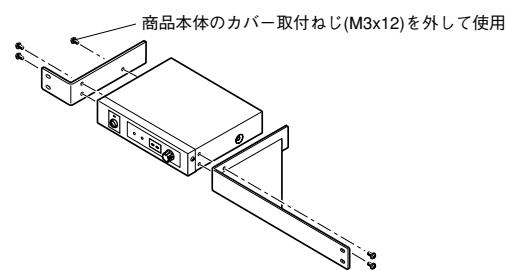
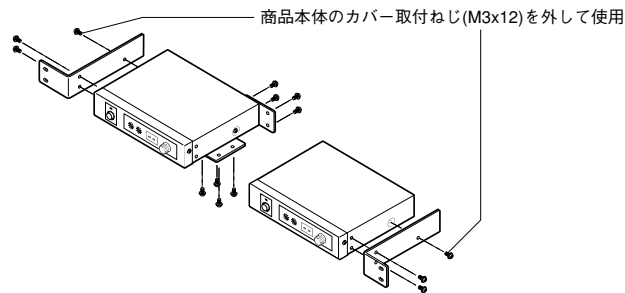
1 底面のゴム足（4本）を取り外します。
ゴム足は、両面テープで貼り付けられています。

2 本機両側面にラックマウント金具（別売品：下記参照）を取り付けます。
金具は、取付ねじで確実に固定してください。

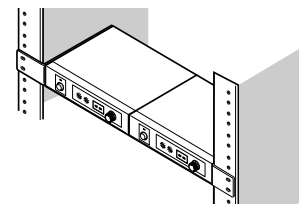
●1台取付時：WQ-LMK44/1-W
- 取付金具（大）×1
- 取付金具（小）×1
- 金具取付ねじ（M3×8：Sタイト 4本）
- ラック取付ねじ（M5×12：4本）

●2台取付時：WQ-LMK44/2-W
- 取付金具（小）×2
- 連結金具×2
- 金具取付ねじ（M3×8：Sタイト 4本）
- 金具取付ねじ（M3×6：Sタイト 8本）
- ラック取付ねじ（M5×12：4本）

●1台取付時
（WQ-LMK44/1-W使用）

商品本体のカバー取付ねじ(M3x12)を外して使用

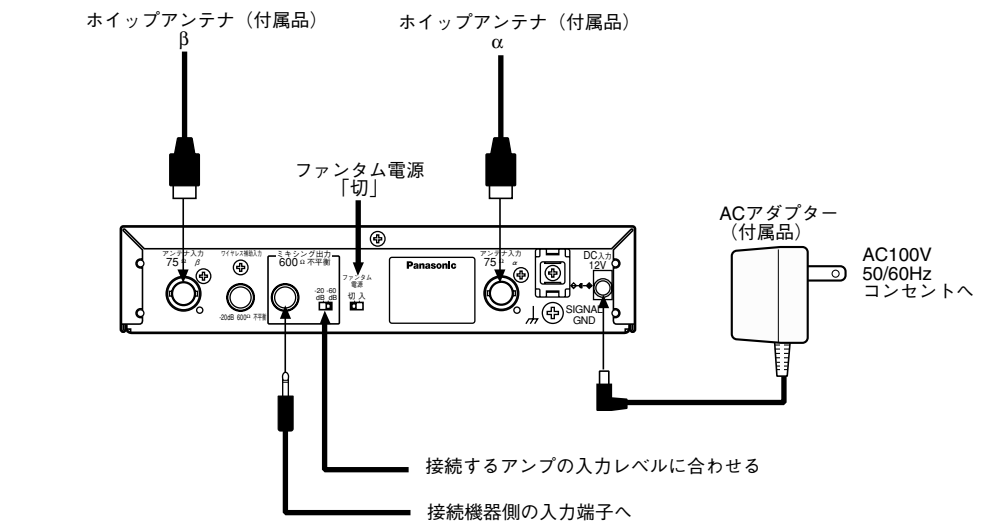
●2台取付時
（WQ-LMK44/2-W使用）

商品本体のカバー取付ねじ(M3x12)を外して使用

3 本機をラックに取り付け、ラック取付ねじ（4本）で確実に固定します。

●2台取付時

お願い

- **上下に取り付ける機器の発熱量に注意し、ラック内の温度が本機の使用温度範囲を超えないように、通風や換気を良くしてください。やむをえず、発熱量の多い機器を上下に取り付けるときは、1U以上の間隔をあけてください。**
- **金具に付属されているラック取付ねじ（M5×12）は、ラックの取付部にねじが切れていないときに使用してください。ねじが切れているところに使用すると、ねじ山がこわれることがあります。**

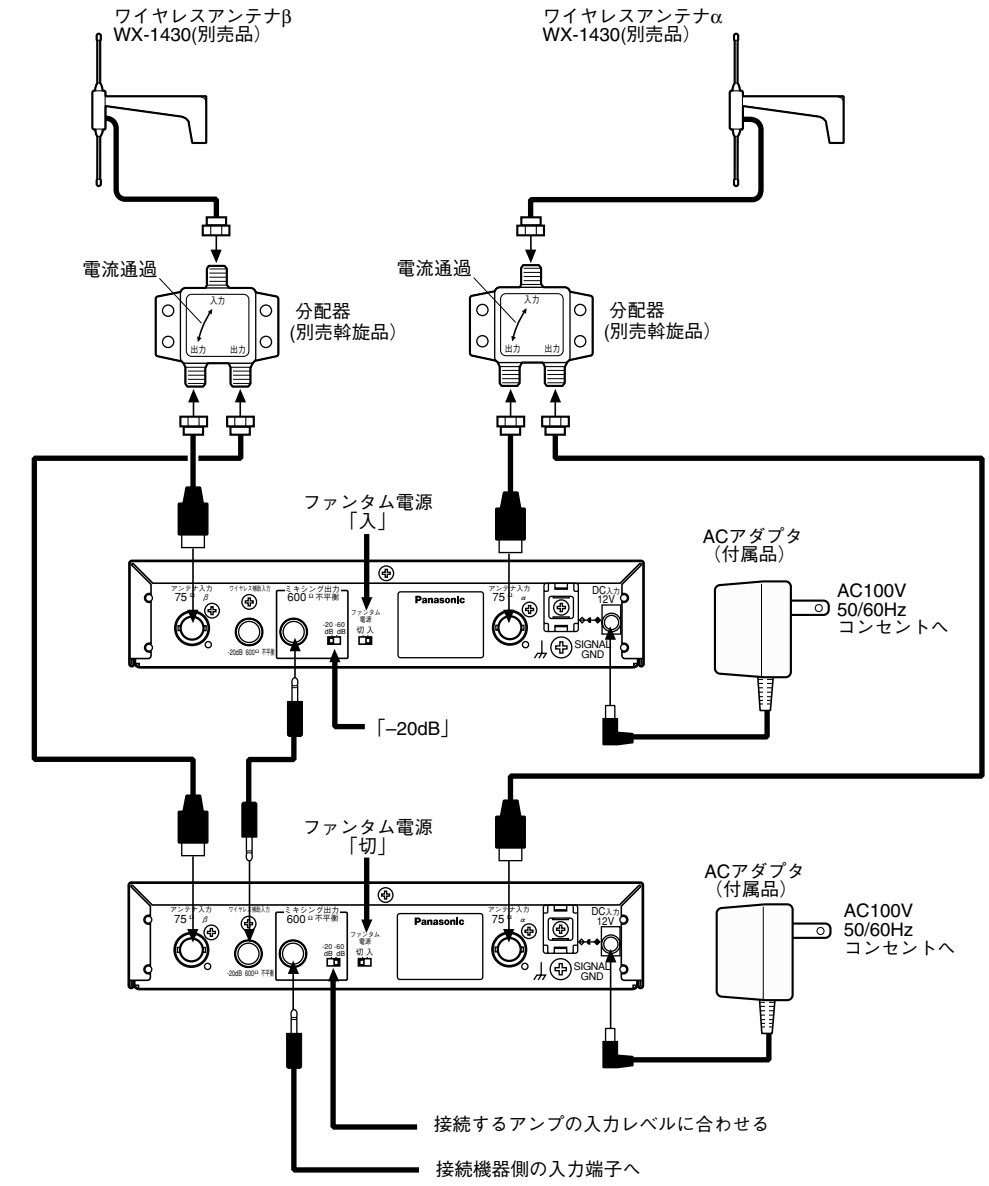
10. 接続のしかた

接続例（.....BNCコネクタ　.....大形単式プラグ　.....F形コネクタ）

●ホイップアンテナ（付属品）を使用する場合

メモ
- ホイップアンテナ（付属品）を使用する場合は、必ずファンタム電源スイッチを「切」にしてください。
- アンテナに金属物が接触すると、ノイズが発生することがあります。

●WX-1430（別売品）を使用する場合

●2波ダイバシティ受信方式の場合

同軸ケーブルは、5C-2Vをご使用ください。

分配器（別売幹旋品）について

上図で説明している分配器のメーカー、品名等は以下のとおりです。
（1999年3月現在）

メーカー：八木アンテナ株式会社（TEL : 03-3292-2371）
品名　：CS2分配器（屋内用）
形名　：CS-772A
入出力　：75 Ω　F形コネクタ（5C-2V用F接栓 3個付属）

配線の処理について

付属の束線バンドを使用し、下図のように接続したケーブル類をケーブルクランプに固定します。

到達距離の目安

●ホイップアンテナ（付属品）を使用する場合

受信機（アンテナ）からマイクまでの距離は、約2 m〜30 mの範囲でご使用ください。

●WX-1430（別売品）を使用する場合

使用する同軸ケーブルの種類や長さにより、使用範囲が変わります。以下の表を参考にしてください。

分配器を使用した場合は、使用範囲が下記表から30%程度せまくなります。

	同軸ケーブル : 3C-2V		同軸ケーブル : 5C-2V	
	30 m以内	60 m以内	60 m以内	90 m以内
使用範囲（アンテナ〜マイク）	10〜60 m	2〜30 m	10〜60 m	2〜30 m

メモ

受信機（アンテナ）からマイクまでの距離は、使用される環境などにより変化する場合があります。